

## 審議会等会議録

会議の名称	令和3年度 第1回 加須市地域福祉計画推進等懇話会（書面審議）
開催日時	【書面審議通知日】 令和3年9月21日（火） 【議決日（書面決議書提出期限日）】 令和3年9月30日（木）
開催場所	—
議長氏名	加藤 美津枝 会長
出席委員	【書面審議を通知した委員】 秋葉 豊二 委員、 潮田 花枝 委員、 加藤 美津枝 委員、 川野 謙一 委員、 尾高 幸江 委員、 田中 利枝 委員、 内田 親 委員、 馬場 弘壽 委員、 瀬ノ 正行 委員、 伊藤 栄 委員、 中山 由紀 委員、 福島 祐一 委員、 成田 恭子 委員、 綱川 新一郎 委員
欠席委員	—
会議次第	【議事（書面審議を行う事項）】 （1） 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について
会議資料の名称	資料1 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画書 《概要版》 資料2 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の 進行管理調書 資料3 加須市地域福祉計画推進等懇話会設置要綱 資料4 加須市地域福祉計画推進等懇話会委員名簿
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴者の数	—
説明者の職・氏名 （書面回答対応）	地域福祉課長 野崎 修司 地域福祉課主幹 石川 栄子
事務局職員職・氏名	同 上
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
秋葉委員	<p><b>【議事（書面審議を行う事項）】</b></p> <p>（1）加須市地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画の進捗状況について</p> <p>「加須市地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画」に基づく取組(活動)について、議事内容を承諾する14人、承諾しない0人</p> <p><b>【書面による意見等】</b></p> <p>コロナ禍で事業が進捗しない中、いくつかでも前進できた事業があることは良かったと思います。引き続き、地域福祉の向上に努力をお願いしたい。</p>
綱川委員	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、進捗状況の把握は難しいと感じました。特に前年度と比較は参考データに使えるものが少なくなってしまうと思います。</p>
加藤委員	<p><b>No.26 地域ブロンズ会議事業</b></p> <p>令和2年度に13の地域でブロンズ会議が発足したが内容については、地域により「充実している。発足させたのみ。」とばらばらに思う。さらなる地域にあった支援をお願いしたい。</p>
事務局回答	<p>各地域のブロンズ会議では、コロナ禍の中でどんな活動ができるかと苦慮しながら活動を進めていると伺っています。所管課の高齢介護課や各支所市民福祉健康課では、生活支援コーディネーターや高齢者相談センターとで一層の連携を図りながら、各地域ブロンズ会議で抱える問題や実施している事業の活動事例の紹介など、課題・情報の共有を図るとともに、ますますブロンズ会議が発展できるように、支援を進めたいとのことです。</p>
川野委員	<p><b>No.1 市民学習カレッジ事業</b></p> <p>従来のセミナーは、会場へ講師・受講者を集め開催していたものと思います。今回のコロナの経験から、一同に会してセミナーの是非を見直す必要があると考えます。</p> <p>時間・場所に捕らわれないセミナー開催〈例1：オンラインセミナー開催、講義のYouTube配信〉の実現へ向けての企画・検討をお願いいたします。</p>
事務局回答	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種セ</p>

	<p>ミナーを中止いたしました。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、開催の延期など調整を図りながら実施しているところです。ご提案いただきましたオンラインセミナー開催等について、所管課の生涯学習課にお伝えしたところ、オンラインセミナー実施に向けたインターネット環境整備状況等を踏まえながら、今後も、生涯学習講座等の開催について、事業内容等を市民企画委員と検討しながら、コロナ禍における生涯学習活動を推進してまいりますとのことでした。</p>
<p>川野委員</p> <p>事務局回答</p>	<p>No.8 こころの健康づくり事業</p> <p>コロナにて生活環境・就労環境（失職）・他等におおきな影響が顕著になっています。</p> <p>カウンセラー・就労相談・子育て支援等の市民へいままで以上に積極的なアプローチが必須であると考えます。</p> <p>市では、身近な相談体制として、精神科医や公認心理師（カウンセラー）による「こころの健康相談（合同相談含む）」を実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、今後の生活への不安や、生きづらさを感じている方が増えていることから、公認心理師による相談日を令和2年度から増やし、令和3年度は年42回行っております。相談方法は、対面や電話、Zoomの相談となり、相談者の希望により選ぶことができます。また、こころの健康づくりに関する普及啓発として、「こころの体温計」をホームページへ掲載し、自身のストレス状態を把握する機会を提供しています。さらに、自殺リスクが高まることもあり得る状況となっていることから、市のホームページへ「生きづらさ」をテーマにした自殺予防に関する啓発動画や、相談窓口一覧を掲載しています。引き続き、相談できる体制を維持し、こころの健康相談等の周知を行ってまいります。</p>
<p>川野委員</p> <p>事務局回答</p>	<p>「福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり」</p> <p>市民への情報開示の点では、加須市HP・配布物等で周知を図って頂いていると承知しております。</p> <p>しかしながら各組織・団体等の役割&amp;相関の市民への周知（アピール）が不足しているように感じられます。</p> <p>誤解を生じるかもしれませんが「縦割り感」が否めません</p> <p>組織横断的な施策立案を企画いただき市民の福祉事業への理解を深めることが少子化・高齢化社会における福祉事業推進への試金石と考えます。</p> <p>市では、医療をはじめ、介護や福祉の分野などにおいて市民の皆様</p>

	<p>に必要なサービスをご利用いただけるよう取り組んでおります。</p> <p>そのような中で、市民の皆様への情報の提供は大切なものと認識しております。支援を必要とする皆様が円滑に福祉サービスや制度の利用をいただき、皆様の不安やお困りごとなどが早期発見・解決につながるよう、各種情報の提供にあたっては各課で連携を強め、積極的にまた効果的に市民の皆様へ情報が届くようその内容や手法等について十分検討し発信してまいります。</p>
尾高委員	<p>コロナが収まり、今後の活動が進展することを祈るのみです。</p> <p>それまで、情報収集や自己研鑽に努めます。</p>
伊藤委員	<p>評価が「遅れている」事業に対してのリカバリー策に具体性がなくPDCAの「CD」が不十分</p> <p>No.6 地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業</p> <p>指標が「サポーター数」だけになっているが、これだけでは全体の活動状況が分からない。目標のサポーター200人の根拠は？今の実際の利用会員が何人（実績支援件数）で、これくらいを目指したいからサポーターが何人必要といういい方をしないと分からない。単純にサポーター数を増やしたいなら絆サポート券を500円から1,000円にすればいい。リカバリー策が具体的でない。</p>
事務局回答	<p>事業の成果・目標指標としては、「利用売上額」と「年間活動時間」を設定しておりますが、地域福祉計画・地域福祉活動計画の目標指標は「サポーター登録数」のみの設定でございました。今回は、書面表決のため事業の全体活動のご説明ができず申し訳ございませんでした。なお、目標値でございますが、計画策定時に各事業の所管課で目標指標を設定し目標値を算定しております。算定については、委員のおっしゃるとおり、主に実績値を踏まえ、当年度の取組を上積み算定する方法が多いかと思われまます。</p> <p>また、いただきましたご意見を踏まえ、関係部署とも協議し、実効性ある事業の改善・今後の取組に努めてまいります。</p>
伊藤委員	<p>No.9 地域医療ネットワーク（とねっと）事業</p> <p>「とねっと」は基本みんな加入することが理想であり、目標が人口比たった22%と設定している根拠が不明。システムやコンテンツが民間企業にかなうはずがないので、むしろ民間との協力が必要、ヘルスデータ管理、集収系のアプリは急速に拡大しており、独自のシステムを使う理由が分からない。また、マイナンバーとの連携についてはどう考えているのか？マイナンバーが究極の One-ID であり、その ID</p>

	<p>上で管理すれば「とねっと」のような仕組みは不用、リカバリー策が具体的ではなく、令和3年度も目標が達成できるとは思えない。</p> <p>事務局回答 目標値の算定については、No.6 地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業でご説明したとおり、実績値を踏まえ、当年度の取組を上積み算定したものです。</p> <p>また、マイナンバーとの連携に関しましては、国や類似の地域医療連携ネットワークの動向等を注視しながら、システム会社や関係機関等と検討を進めているところです。</p>
伊藤委員	<p>No.21 ホームページ・SNS活用事業</p> <p>HPの閲覧件数と目的達成の連鎖性が分からない。見る人の立場に立ったコンテンツ評価が必要、例えばHP・Webサイトのエフォートレス度、満足度、NSP等 これらの指標が改善されればおのずと認知度も高まる。</p>
	<p>事務局回答 ご意見について、所管課のシティプロモーション課へお伝えするとともに、今後の事業の取組を確認しましたところ、今後の更新に当たり、必要な情報を見つけやすく、好感度のある見る方の立場に立ったホームページのリニューアルに向け、関係機関等と検討を進めているところです。</p>
成田委員	<p>No.20 障害者相談支援事業</p> <p>基幹相談センターの設置を課の業務課題と捉えていると報告いただいておりますが活動計画の進捗状況として報告いただければ幸いです。</p>
	<p>事務局回答 基幹相談センター設置の進捗状況ですが、現在、委託事業として実施しております北埼玉障がい者生活支援センターの共同設置者である行田市、羽生市と、基幹相談支援センターの設置に向け具体的な協議を進めているところです。</p>
成田委員	<p>基本目標4「福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり」の基本施策2について、前回は「高齢者・障がい者」分野の事業設定がなく、報告は不可能とのことでしたが、次期計画には取組を報告できるよう努めるという回答でした。高齢者の障がい者も増加傾向の今、ニーズは広がっていると思われませんが、今回もどちらも全く事業が設けられなかったのでしょうか。担当者の考えをお知らせ下さい。</p> <p>上記は、「福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり」に該当すると思われま。利用者のニーズに応じた総合的なサービスに近づきたいものです。</p>

事務局回答

現在市では、高齢者をはじめ、障がい者や子育て支援等の各種事業を実施し、支援を必要とする皆様が円滑に福祉サービスや制度の利用いただけるよう努めているところです。

こうした中、現行の地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画(計画期間 平成29年度～令和3年度)では、基本目標4の基本施策2においては、「高齢者・障がい者」分野の目標指標の設定はございませんが、いただきましたご意見につきましては、今年度策定いたします加須市地域福祉計画(第3次)・地域福祉活動計画(第2次)を策定する中で、懇話会委員の皆様からのご意見を伺うとともに、関係部署とも協議し、実効性ある計画となるよう努めてまいります。

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注)

令和3年10月20日

署名 加藤 義津枝

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。